

Kenko

ケンコー COMBOフィルムスキャナー

KFS-14CB

取扱説明書



このたびはCOMBOフィルムスキャナー「KFS-14CB」をお買い上げいただき、ありがとうございます。
ご使用前には必ず取扱説明書をよくお読みいただき、安全に正しくお使いください。

目次

はじめに	04	6コマ用ホルダーにセットする	22
安全上のご注意	05	フィルムホルダーを挿入する	23
本製品の紹介	07	スキャンする	24
セット内容	07	フィルムをスキャンする	24
各部の名称	08	スキャンモードの画面表示	25
		フィルム選択モード	26
		露出の設定	27
		写真プリントの装着	28
		写真プリントをスキャンする	29
		写真プリントスキャンモードの画面表示	30
		写真サイズ選択モード	31
		カードロック	32
		カードエラー	33
		カードフル	33
ご使用の前に	10	再生モード	34
電源(ACアダプター)の取り付け	10	ファイルの再生	34
電源のオン/オフ	11	再生モードの画面表示	35
ボタンの機能を紹介します	12	ファイルの削除	36
スイッチの機能を紹介します	13	一枚削除	36
LEDインジケーター表示	13	全て削除	37
SDHCメモリーカードを使用する前に	14		
ファイル名/ディレクトリ名を変更しない	15		
SDHCメモリーカードを使用する	16		
SDHCメモリーカードを取り付ける	17		
SDHCメモリーカードのフォーマット	18		
リチウムイオン充電電池の取り付け	19		
リチウムイオン充電電池の充電	20		
フィルムホルダーにフィルムを取り付ける	21		
マウント用ホルダーにセットする	21		

目次

USBモード	38
USBモード	38
パソコンとの接続	39
パソコンと接続する	39
プリントする	40
プリントする	40
トラブルシューティング	41
操作時のトラブル	41
付属清掃用ブラシの使用方法	42
記録可能枚数の目安	43
記録可能枚数の目安	43
仕様	44
仕様	44
パソコンの動作環境	46
オプション	47
オプション製品	47
保証規定	50

はじめに

このたびはCOMBOフィルムスキャナー「KFS-14CB」をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

また、お読みになったあとは、いつでも見られるところに大切に保管してください。

ご使用前にお読みください。




- 本製品の故障およびその他の理由により生じた画像データの破損、消失による利益損失、損害などに関し、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 本製品の使用および故障により生じた直接、間接の損害に関し、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 取扱説明書の誤りなどについての補償はご容赦ください。
- 本取扱説明書の図、写真、パソコンディスプレイの画面などは説明のために作成したものです。一部実際とは異なります。
- 本製品に付属しているソフトウェアを営利目的として無断でコピーしたり配布することは禁止されています。
- 本取扱説明書の内容の一部もしくは全部を無断で複写することは、個人で楽しめる場合を除き禁止されています。
- 製品改良のため予告なく外観、仕様などを変更することがあります。
- 本取扱説明書に記載のシステム名、商品名および会社名は各社の商標または登録商標です。
- 液晶モニターに使用されている液晶パネルは、非常に高精度な技術で作られておりますが、画素欠けや常時点灯があります。使用部品メーカーの保証値となります。また記録される画像には影響されません。



安全上のご注意 必ずお読みください。

本製品を安全にご使用いただくために、下記の項目をご使用前に必ずお読みになり、正しくお使いください。

本製品を正しくご使用いただき、お使いになる人や他の人々への危害と財産への損害を未然に防止するために、次の絵表示で説明しています。

 危険	 警告	 注意
この指示に従わないで誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う切迫した危険の発生が想定される内容です。	この指示に従わないで誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。	この指示に従わないで誤った取扱いをすると、人が障害を負う可能性または、物的損害が生じる可能性が想定される内容です。

危険

- 可燃性ガス、爆発性ガスなどが、大気中に存在する恐れのある場所での本製品の使用はおやめください。引火・爆発の原因となります。
- 本製品を分解したり、直接ハンダ付けするなどの加工および、火中投入などは行わないでください。発熱、発火、破裂の危険があります。
- 本製品を高温の場所（真夏の車内、窓辺、暖房器具のそばなど）で使用、保管しないでください。

警告

- 本製品を足場の悪い環境や、不安定な場所で使用しないでください。事故の原因となります。
- 本製品は防水構造ではありません。水をかけたり、濡らしたりしないでください。製品内部に水が入ると火災や感電、故障の原因となります。
- 本製品に何らかの液体が入った場合、使用を中止してください。電源を切り、お近くの販売店にお問い合わせください。
- 感電の恐れがありますので、濡れた手で本製品を触らないでください。
- 本製品の分解や改造は行わないでください。火災や感電、故障の原因となります。内部の点検や修理は販売店もしくは当社までご依頼ください。
- 本製品を使用中に落雷の恐れがある場合、すみやかに使用をやめてください。事故の原因となります。
- 本製品を使用しない場合でも3カ月に1度は充電電池を充電してください。定期的充電しないと充電機能が衰えることがあります。



安全上のご注意 必ずお読みください。

警告

- 異常、故障時はただちに使用を中止し、ACアダプターを抜いてください。
- 写真プリントをセットする際、本体と写真プリントホルダー間に指をはさまないでください。ケガの原因となります。
- 小さな付属品を飲み込む恐れがありますので、お子様やペットの手の届く範囲に本製品を放置しないでください。
- ケーブルが首に巻き付くと窒息の危険があります。お子様の手の届かないところに保管してください。
- ポリ袋(包装用)などを小さなお子様の手の届くところに置かないでください。口にあてて窒息の原因になることがあります。

注意

- 付属のACアダプター以外使用しないでください。付属のACアダプター以外を使用すると故障の原因になります。
- 本製品は精密な電子機器です。以下のような場所で使用したり放置すると火災や感電、故障の原因となることがありますので避けてください。
 - 砂、ほこり、ちりの多い場所
 - 火の近く
 - 湿ったところ
 - 振動の激しい場所
 - 温度・湿度の変化が激しい場所
- 車内は、温度変化が激しく高温あるいは低温になり振動もありますので、使用および保管は避けてください。
- 本製品を落としたりぶつけたりして強い振動や衝撃を与えないでください。
- 電極部分などには一切触れないでください。感電や故障の原因になります。
- 本製品を保管するとき、上に重い物を載せないでください。故障の原因になります。
- 本製品に付属のケーブルを接続するとき、無理矢理入れたり外したりしないでください。故障の原因になります。
- この製品には付属のACアダプターをご使用ください。付属以外のACアダプターを使用すると故障の原因になることがあります。
- ケーブル等を持って振り回さないでください。他人に当たり、けがや事故の原因となることがあります。
- 平らで安定した場所に設置してください。不安定な場所に置くと転倒、故障、事故の恐れがあります。
- 長期間(1カ月以上)使用しない場合は、必ず本製品から充電電池を取り出してください。

その他のご注意

- スキャンするフィルム、プリント、撮影条件等によりデータ容量が異なります。
- 本製品の液晶モニターが汚れたとき、市販のクリーニングクロスで拭き取ってください。
- ラジオやテレビのお近くでお使いになると、受信障害を引き起こすことがあります。

本製品の紹介

📦 セット内容

以下のセット内容が揃っているかご確認ください。

万一、不足しているものがあれば、ご購入店またはケンコー・トキナーお客様相談室までお申し付けください。



本体



マウント用フィルムホルダー



6コマ用フィルムホルダー



ACアダプター



リチウムイオン充電電池
(BL-5C)



USB-PC接続ケーブル



清掃用ブラシ



取扱説明書(本書)

※形状は異なる場合があります。

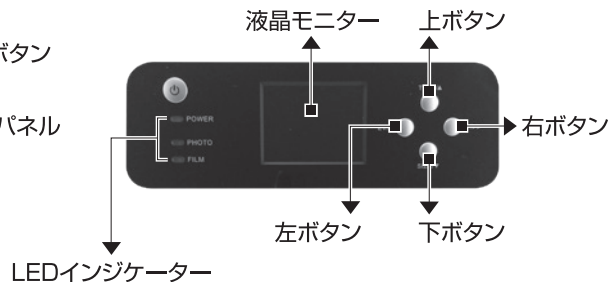
本製品の紹介

各部の名称

前面／上面

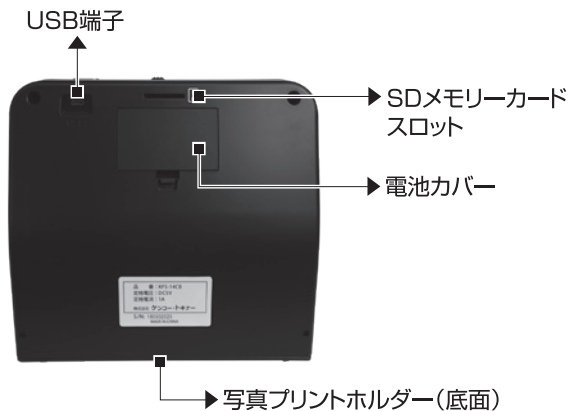


操作パネル



本製品の紹介

背面



左面



右面

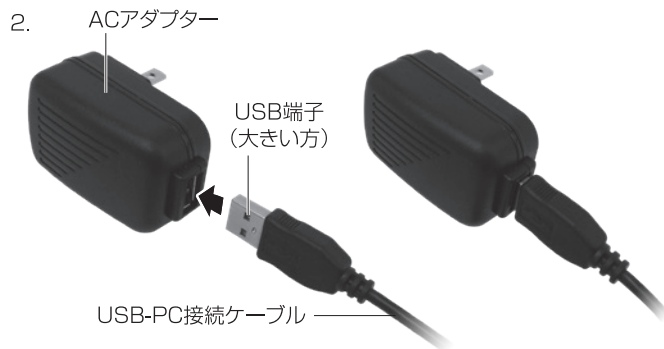
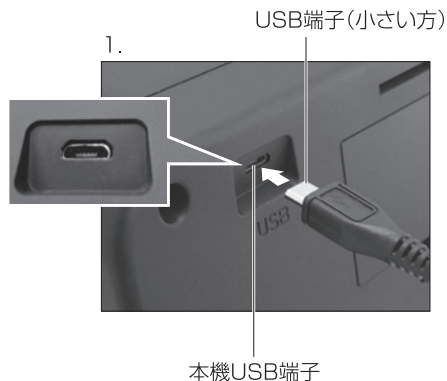


ご使用の前に

▶ 電源(ACアダプター)の取り付け

本機と付属のACアダプターを接続します。

1. USB端子(小さい方)を本機背面のUSB端子に接続します。
2. ACアダプターに付属のUSB-PC接続コードのUSB端子(大きい方)を接続します。
3. ACアダプターをコンセントに取り付けます。



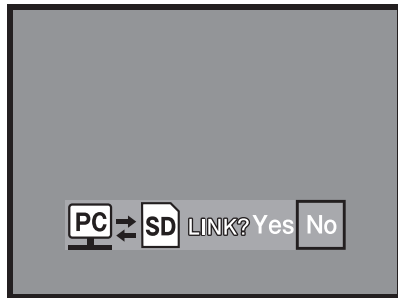
ご使用の前に

電源のオン／オフ

1. 電源ボタンを押します。
赤色の電源インジケーターが点灯し、液晶モニターが表示されます。
2. 液晶モニターに「LINK?」と表示されます。
上または下ボタンを押して「No」を選択し、
OKボタンを押して決定します。
3. 再度、電源ボタンを押すと電源がオフになります。










2.



- ◆何も操作を行わない場合、約3分で液晶表示がオフになります。このときOKボタンを押すと液晶が表示されます。
- ◆何も操作を行わない場合、約6分すると自動的に電源オフになります。
- ◆次頁以降の操作説明では上記2項の説明は省略いたします。

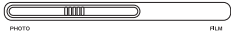
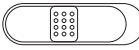
ご使用の前に

▶ ボタンの機能を紹介します



ボタン	名 称	機 能
	電源ボタン	電源をオン／オフします。
 OK/ 	OK/スキャンボタン	項目を選択時、決定します。 スキャンを開始します。
TYPE/▲ 	上ボタン	フィルムスキャン時、サイズを選択します。 露出設定時、補正値を調整します。 再生時、ファイルの移動をします。
 SIZE/▼	下ボタン	写真プリントスキャン時、サイズを選択します。 露出設定時、補正値を調整します。 再生時、ファイルの移動をします。
EV/ 	左ボタン	露出設定をします。 ファイルの削除をします。
	右ボタン	再生モードにします。

ご使用の前に

▶ スイッチの機能を紹介します

スイッチ	名 称	機 能
	写真プリント／フィルム スキャンモード切替スイッチ	スキャン時、写真プリントとフィルムのモード切替をします。
	写真プリント／フィルム LEDライト切替スイッチ	写真プリントとフィルムモード時の LEDライトの切り替えをします。

▶ LEDインジケータ表示

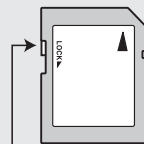
表示灯	色	説 明
 POWER	赤点灯	電源がオンです。
 PHOTO	緑点灯	写真プリントスキャンモードです。
 FILM	緑点灯	フィルムスキャンモードです。

ご使用の前に

▶ SDHCメモリーカードを使用する前に



- ◆ 新しいSDHCメモリーカードはそのままお使いください。(P.18参照)
- ◆ SDHCメモリーカードをセットすると、スキャナーはSDHCメモリーカードを認識します。
- ◆ この他にも、取り扱いに関する注意事項がP.5～6に記載されていますので必ずよくお読みください。
 - パソコンに接続、データ転送中や、スキャン／再生中にSDHCメモリーカードを引き抜かない
パソコンとスキャナーを接続し、撮影したデータをパソコンに転送している最中や、撮影中または再生中にSDHCメモリーカードをスキャナーから引き抜かないでください。スキャンした画像データ、SDHCメモリーカードおよびスキャナー本体が破損する恐れがあります。
 - ライトプロテクトスイッチについて
SDHCメモリーカードにはライトプロテクトスイッチ機能がついています。下にスライドすると、SDHCメモリーカードはロックされ、SDHCメモリーカードへの記録／消去が禁止され、保存されている画像などのデータが保護されます。記録／消去する場合はロックを解除してください。
- ◆ P.15の注意事項をよくお読みになり、正しい取り扱いを行ってください。



ライトプロテクト
スイッチ

ご使用の前に

📁 ファイル名／ディレクトリ名を変更しない

パソコンでSDHCメモリーカードに保存されている画像データのファイル名やディレクトリ名を変更したり、記録されたデータ以外のファイルを書き込まないでください。本機で認識できなくなり、機能に障害がでる恐れがあります。



- SDHCメモリーカードは精密機器ですので、無理な力を加えたり、乱暴に扱わないでください。また、SDHCメモリーカードが静電気を帯びていると、うまく認識されなかったり、フィルムスキャナーの誤作動など障害が起こる恐れがあります。
- SDHCメモリーカードを使用中、誤作動や故障により記録内容が失われることがあります。記録されたデータの破損、消失につきましては、故障や損害の内容および原因にかかわらず、当社では一切の責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。
- SDHCメモリーカードに異常があると思われる場合は、フォーマットすることで正常に動作する場合があります。その際は、本製品のフォーマット機能をお試しください。(フォーマットすると、記録されている画像データは全て消失されますので、あらかじめご了承くださいの上、フォーマットを行ってください。必要に応じてデータをパソコンやCDにコピーしてからフォーマットしてください。)
- 電極部(金色の金属部分)が汚れてしまった場合は、乾いた清潔な布などで汚れを軽く拭き取ってください。

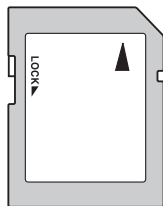
ご使用の前に

▶ SDHCメモリーカード(別売)を使用する。

本製品で撮影した画像は、SDHCメモリーカードに記録されます。

SDHCメモリーカード(別売)を本機背面のSDHCメモリーカードスロットにセットしてください。

フィルムをスキャンすると自動的にSDHCメモリーカードに記録されます。



SDHCメモリーカード



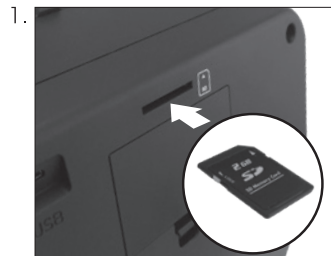
- 本機に使用できるメモリーカードの仕様は、SDHCメモリーカード4GB～32GBまでです。その他の種類のカードを使用しますと、製品及びカードが故障する可能性があります。

ご使用の前に

SDHCメモリーカードを取り付ける

SDHCメモリーカードは本機背面のSDHCメモリーカードスロットにセットします。

1. SDHCメモリーカードスロットにSDHCメモリーカードの接触面が本機底面側になるようにして、SDHCメモリーカードがカチッと音がするまで押し込みます。
2. SDHCメモリーカードを取り外す時は、SDHCメモリーカードがカチッと音がするまで軽く押し込みます。SDHCメモリーカードが少し飛び出ます。



- ◆ 新しいSDメモリーカードを使用される際は、あらかじめSDHCメモリーカードのフォーマット(初期化)(P.18参照)をしてください。
- ◆ スキャンしたファイルに付けられるファイル名の番号(00001)はSDメモリーカード内のファイルを消去しても連続してカウントされます。



- 差し込みにくい時は、挿入する方向が間違っている可能性があります。無理に挿入しないでください。
- SDHCメモリーカードを本機から着脱する場合は、必ず本機の電源をオフにした状態で行ってください。
- すべてのSDメモリーカードで動作を保証するものではありません。
- 他のカメラ等で撮影したファイルが保存されたSDHCメモリーカードをセットすると誤動作する場合があります。必ずKFS-14CBでフォーマットしてから使用してください。
- microSDHCメモリーカードのアダプターでの使用は、動作不良の原因となりますのでお勧めいたしません。

ご使用の前に


SDHCメモリーカードのフォーマット



- 新品のSDHCメモリーカードはそのままお使いください。
他のカメラ等の機器で使用したSDHCメモリーカードはパソコンまたは本機でフォーマットしてください。
- フォーマットを行うとSDHCメモリーカードに記録された全てのデータが消去され、初期化されますのでご注意ください。
- フォーマットをする前に必要に応じてファイルをパソコンやCDにコピーしてください。
- SDHCメモリーカードのライトプロテクトスイッチ(P.16参照)でロックしている場合、フォーマットは行われません。
- フォーマットした場合、ファイル番号は「0001」にリセットされます。パソコン内に同一番号のファイル名がある場合、パソコンに取り込むと上書き保存されますのでご注意ください。
- フォーマット中は電源を切らないでください。

本機でフォーマットする場合
(SDHCメモリーカードに画像データがある場合のみ有効となります。)

1. 再生ボタンを押します。
2. SDHCメモリーカード内に保存された画像が液晶モニターに表示されます。
3. 左ボタンを3回押します。

 **Format** が表示されます。上／下ボタンを押して下記のいずれかを選択し、OKボタンを押して決定します。

Yes フォーマット : SDHCメモリーカードをフォーマット(初期化)します。

No キャンセル : フォーマット(初期化)しません。

3.フォーマット



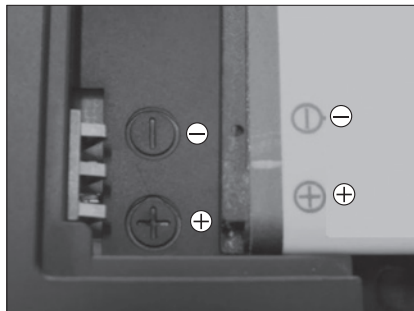
ご使用の前に

▶ リチウムイオン充電電池の取り付け

付属のACアダプターのご使用以外にリチウムイオン充電電池でも動作いたします。

1. 本体背面の電池カバーを上を押しながら手前に引くと電池カバーが開きます。
2. 電池室内の電極 ⊕ ⊖ 表示に合わせてリチウムイオン充電電池をセットします。
3. 電池室カバーを閉めます。操作方法は、ACアダプター使用時と同様です。
電池残量表示が液晶モニターに表示されます。

2.



ご使用の前に

📺 リチウムイオン充電電池の充電

1. 本体に充電電池を取り付けます。スキャナーの電源はオフにしてください。
 2. USBケーブルの反対側のコネクタをACアダプター、もしくはPCIに接続します。
 3. 充電が開始されるとスキャナのPOWER LEDが赤く点灯します。
 4. 充電完了するとPOWER LEDが消灯します。
- 充電電池は充電されておりませんので初めてご使用になるときはフル充電してからお使いください。
 - 充電時間の目安は1.5時間です。



- ◆ リチウムイオン充電電池を使用する場合は、ACアダプターを接続しないでください。故障の原因になります。
- ◆ リチウムイオン充電電池をスキャナーから脱着する場合は、必ず電源をオフにした状態で行ってください。
- ◆ リチウムイオン充電電池は付属のもの以外使用しないでください。
付属以外のものを使用すると故障の原因になることがあります。
- ◆ 電極のショート、分解、加熱はしないでください。
- ◆ リチウムイオン充電電池に外観の膨らみ、液漏れなどの異常があった場合は直ちに使用を中止し、スキャナーから取り出してください。
- ◆ リチウムイオン充電電池単体で保管、持ち運びの際は安全のためプラスチックケース、ビニール袋などに入れてください。
- ◆ 使用環境および充電電池の状態により動作時間が減少します。
- ◆ スキャナーを長時間(1ヵ月以上)使用しない場合はリチウムイオン充電電池を取り出してください。
- ◆ リチウムイオン充電電池を取り出す時に、指、爪などを傷つけないようにご注意ください。

ご使用前に

▶ フィルムホルダーにフィルムを取り付ける

▶ マウント用ホルダーにセットする

1. マウント用ホルダーを開きます。
2. マウントされたリバーサル(ポジ・スライド)フィルムを装着します。
3. マウント用ホルダーを閉じます。

1.



2.



3.



- ◆ スキャンする写真の上下、表裏に注意してセットしてください。
- ◆ ホルダーにフィルムを装着する際はフィルムに指紋や汚れなどがつかないように手袋をしてください。

ご使用前に

▶ 6コマ用ホルダーにセットする

1. 6コマ用ホルダーを開きます。
2. ネガフィルムを装着します。ホルダーの突起とパーフォレーション(穴)を合わせます。
3. 6コマ用ホルダーを閉じます。

1.



2.



3.



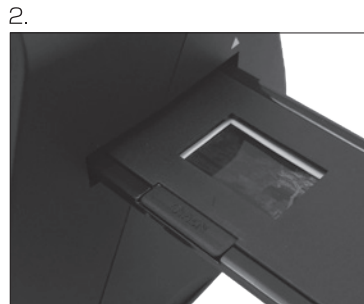
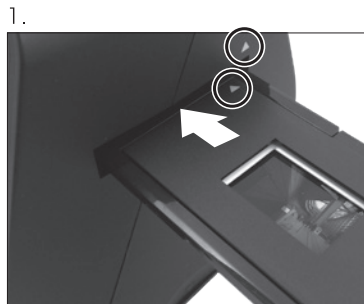
- ◆ マウントされていないリバーサル(ポジ・スライド)フィルムも、この6コマ用ホルダーを使用します。
- ◆ スキャンする写真の上下、表裏に注意してセットしてください。

ご使用の前に

▶ フィルムホルダーを挿入する

スキャンするフィルムを装着後、フィルムホルダーを本機に装着します。

1. 本機右側面のフィルムホルダースロット部の▲マークとフィルムホルダーの◀マークの位置を合わせ、フィルムホルダーを挿入します。
2. フィルムホルダーを左へスライドして液晶モニターにスキャンするフィルムを表示します。



スキャンする

📷 フィルムをスキャンする

フィルムをスキャンして画像(デジタル)データを作成します。

電源をオンにします。

1. フィルムホルダーにフィルムを装着(P.21~22参照)してフィルムホルダースロットに挿入します。(P.23参照)
2. 写真プリント/フィルムスキャンモード切替スイッチ、写真プリント/フィルムLEDライト切替スイッチを「FILM」に設定します。
3. 上ボタンを押して「フィルム選択モード」を選択します。「フィルム選択モード」はP.26をご覧ください。
4. 必要に応じて露出調整をします。P.27をご覧ください。
5. OKボタンを押すとスキャンを開始し、砂時計が表示されます。
6. スキャンされたファイルはファイル番号が付けられ、SDHCメモリーカード内に保存されます。

1.



5.



◆ 設定により表示されるアイコンは異なります。

スキャンする

☞ フィルムスキャンモードの画面表示



1		フィルムモード(135mmネガフィルム)
2	0.0EV	露出(0.0EV)
3	01999	スキャン可能枚数の目安
4		電池残量(電源オン)



- ◆ 古いフィルムをスキャンする場合、稀にフィルムが破損することがあります。写真店等で複製してからスキャンすることをお勧めします。
- ◆ フィルムホルダーから侵入したホコリ等がフィルムと共にスキャンされる場合がありますのでスキャナー挿入前に清掃してください。清掃方法はP.42を参照してください
- ◆ 清掃用ブラシで取れない汚れは、乾いたノンアルコール綿棒で拭いてください。清掃方法はP.42を参照してください
- ◆ 冬場は特に、静電気の発生によりホコリ等が付着しやすくなりますのでご注意ください。

スキャンする






📽 フィルム選択モード

スキャンするフィルムの種類を設定します。

上ボタンを押してスキャンするフィルムの種類を選択します。上ボタンを押すごとにフィルムの種類が切り替わります。



フィルムモードアイコン

	135リバーサルフィルム
	135ネガフィルム
	135白黒ネガフィルム
	110ネガフィルム
	126ネガフィルム



◆ 設定により表示されるアイコンは異なります。

スキャンする

⌕ 露出の設定

スキャンする写真の明るさを設定します。

1. 左ボタンを押します。
2. 上または下ボタンを押して、補正值を選択します。
補正範囲は-2~+2(0.5EVステップ)です。
3. もう一度、左ボタンを押します。
P.25のフィルムスキャンモードに戻ります。

1.



2.



◆ 設定により表示されるアイコンは異なります。

スキャンする

写真プリントの装着

スキャンする写真プリントを写真プリントホルダーに装着します。

1. 本機底面の写真プリントホルダーを取り外します。
2. 写真プリントホルダーのくぼみに、写真プリントサイズに合わせてセッします。
3. 写真プリントホルダーに本機を載せてを閉じます。



- 本機底面の写真プリントホルダーと本機本体はマグネットで接合しています。写真プリントホルダー取り外し時の取り扱い、破損にご注意ください。



- ◆ 装着できる写真プリントのサイズはP.31をご覧ください。
- ◆ スキャンする写真の上下に注意してセットしてください。
- ◆ 写真プリントホルダーを外してアルバムに直接のせてスキャンすることもできます。
- ◆ 写真プリントをセットする際、本体と写真プリントホルダー間に指先をはさまないようにご注意ください。

スキャンする

写真プリントをスキャンする

写真プリントをスキャンして画像(デジタル)データを作成します。

1. 本機底面の写真プリントホルダーを取り外し、
写真プリントの天地に注意して装着します。
装着できる写真プリントサイズはP.31をご覧ください。
写真プリントを装着後、本機本体を写真プリントホルダーに取り付けます。
2. 写真プリント/フィルムスキャンモード切替スイッチ、
写真プリント/フィルムLEDライト切替スイッチを「PHOTO」に設定します。
3. 下ボタンを押して「写真サイズ選択モード」を選択します。
「写真サイズ選択モード」はP.31をご覧ください。
4. 必要に応じて露出調整をします。P.27をご覧ください。
5. OKボタンを押すとスキャンを開始し、砂時計が表示されます。
6. スキャンされたファイルはファイル番号が付けられ、
SDHCメモリーカード内に保存されます。



- 本機に内部のLEDライト発光部を見ることは絶対にしないでください。
失明などの永久視力障害の原因となります。

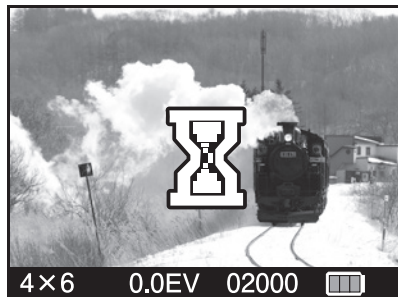


- ◆ 設定により表示されるアイコンは異なります。

1.



5.



スキャンする

㊞ 写真プリントスキャンモードの画面表示



1	4×6	写真プリントスキャンサイズ(4×6サイズ)
2	0.0EV	露出(0.0EV)
3	02000	スキャン可能枚数の目安
4		電池残量(電源オン)



- ◆ 写真プリントにホコリ等が付着している場合、写真プリントと共にスキャンされる場合がありますので、スキャン前に清掃してください。
- ◆ 冬場は特に、静電気の発生によりホコリ等が付着しやすくなりますのでご注意ください。

スキャンする

㊞ 写真サイズ選択モード

スキャンする写真プリントのサイズを設定します。

下ボタンを押してスキャンする写真プリントのサイズを選択します。下ボタンを押すごとにフィルムの種類が切り替わります。



写真プリントスキャンサイズアイコン

4×6	4×6サイズ
3.5×5	3.5×5サイズ
4×4	4×4サイズ
4.2×3.2	4.2×3.2サイズ
3.4×2.1	3.4×2.1サイズ




◆ 設定により表示されるアイコンは異なります。

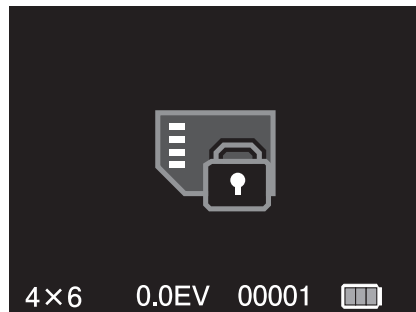
スキャンする

☞ 露出の設定

P.27「露出の設定」をご覧ください。

☞ カードロック

スキャンした画像を保存する際、SDHCメモリーカードがロック(ライトプロテクトスイッチ)されていると保存ができません。液晶モニターにアイコンが表示されます。SDHCメモリーカードを取り出し、SDHCメモリーカードのライトプロテクトスイッチを解除し、再度本体にセットしてください。



- ◆ ライトプロテクトスイッチはP.14「SDHCメモリーカードを使用する前に」をご覧ください。
- ◆ 設定により表示されるアイコンは異なります。

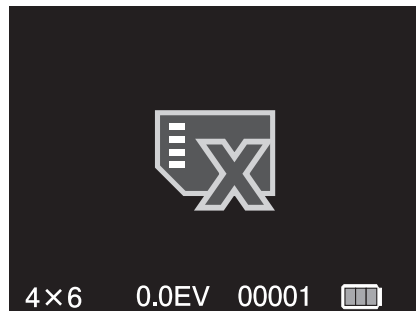
スキャンする

❏ カードエラー

本機がSDメモリーカードを認識しない場合、液晶モニターに❏アイコンが表示されます。SDHCメモリーカードをセットしてください。



◆ 設定により表示されるアイコンは異なります。

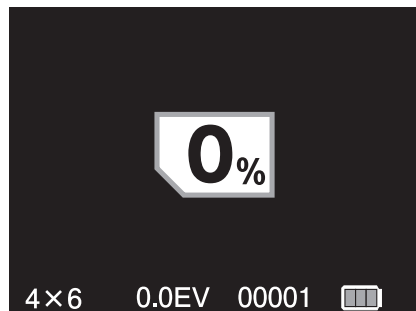


❏ カードフル

またはSDHCメモリーカードが一杯になると、液晶モニターに❏アイコンが表示されます。画像ファイルをパソコンにコピーするか、新しいSDHCメモリーカードをセットし保存してください。



◆ 設定により表示されるアイコンは異なります。



再生モード

再生モード

SDHCメモリーカードまたは内蔵メモリーに保存された画像を液晶モニターに表示します。

電源をオンにします。

1. 右ボタンを押します。SDHCメモリーカードに保存された新しいファイルが液晶モニターに表示されます。
2. 上または下ボタンを押すごとに、次のファイルを表示します。
3. 右ボタンを再度押すと、スライドショーを開始します。約3秒間隔で液晶モニターに表示します。
4. 再度、右ボタンを押すと再生を終了し、スキャンモードになります。

1.



再生モードアイコン

3.



スライドショーアイコン





◆ 設定により表示されるアイコンは異なります。

再生モード

再生モードの画面表示



1		再生モード(1毎再生)
2	00001:00123	表示中のファイルNo:全ファイル数
3		電池残量(電源オン)



◆ 設定により表示されるアイコンは異なります。

再生モード

▶ ファイルの削除

不要なファイルを削除します。

▶ 1枚削除

1. 右ボタンを押して再生モードにします。
2. 上または下ボタンを押して、
削除したいファイルを液晶モニターに表示します。
3. 左ボタンを押します。
上または下ボタンを押して下記のいずれかを選択し、OKボタンを押します。
Yes : ファイルを削除します。
No : ファイルを削除しません。



- ◆ 削除したファイルは元に戻りませんのでご注意ください。
- ◆ 設定により表示されるアイコンは異なります。

1.



3.



再生モード

⌂ 全て削除

1. 右ボタンを押して再生モードにします。
2. 上または下ボタンを押してファイルを液晶モニターに表示します。
3. 左ボタンを2回押します。
上または下ボタンを押して下記のいずれかを選択し、OKボタンを押します。

Yes : ファイルを削除します。

No : ファイルを削除しません。

1.



3.



- ◆ 削除したファイルは元に戻りませんのでご注意ください。
- ◆ 設定により表示されるアイコンは異なります。

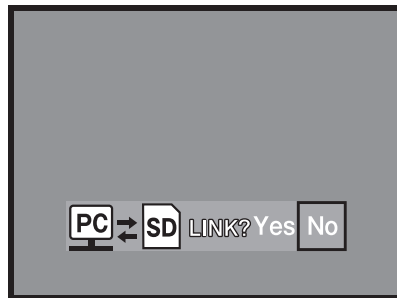
USBモード

▶ USBモード

本機とパソコンをUSB接続ケーブル(付属品)で接続します。(P.39参照)

1. 電源をオンにします。
液晶モニターに「LINK?」と表示されます。
上または下ボタンを押して「Yes」を選択し、
OKボタンを押して決定します。
2. パソコンと接続中は、液晶モニターはオフになります。

1.



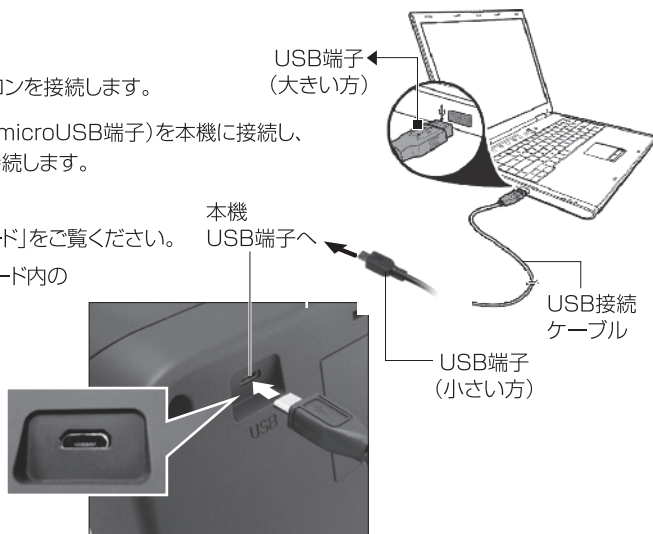
- ◆ パソコンと接続中は「リムーバブルディスク」として認識されます。
- ◆ 設定により表示されるアイコンは異なります。

パソコンとの接続

▶ パソコンと接続する

付属のUSB接続ケーブルを使用して、本機とパソコンを接続します。

1. 付属のUSB-接続ケーブルの小さいUSB端子(microUSB端子)を本機に接続し、もう一方のUSB端子(大きい方)をパソコンに接続します。
2. 本機の電源をオンにします。
3. 本機を「USBモード」にします。P.38「USBモード」をご覧ください。
4. パソコンが本機を認識するとSDHCメモリーカード内の動画ファイルをパソコンに取り込みます。
5. パソコンと接続中は、液晶モニターはオフになります。



- ◆ お使いのパソコンのOS・バージョン等により表示は異なります。
- ◆ パソコンで再生する場合は、記録ファイルを本体にコピーしてから再生してください。
- ◆ パソコンの一部機種の設定、構成によっては正常に動作しない場合があります。あらかじめご了承ください。
- ◆ USB接続ケーブルを取り外す際は、各OSで定められた手順で行ってください。

プリントする

▶ プリントする

作成した画像をプリントする場合は、保存したフォルダから直接プリンタへ出力するか、CD-ROM等にコピーしてからカメラ店等に依頼してください。

あるいは別売のSDメモリーカード(この場合、プリント用SDメモリーカードを別に用意すると削除や上書き保存のトラブルの防止になります。)にコピーしてカメラ店あるいは家電量販店等のスタンド式プリンターからもプリントできます。



- ◆ SDメモリーカードに保存した画像をデジタルフォトフレームでお楽しみいただけます。お使いのデジタルフォトフレームの取扱説明書をご覧ください。

トラブルシューティング

㊦ 操作時のトラブル

「故障かな?」と思ったらもう一度確認、点検してください

症 状	原 因	対 策
電源が入らない。	ACアダプターにUSB-PC接続コードが正しく取り付けされていないのでは?	ACアダプターにUSB-PC接続コードを正しく取り付けしてください。(P.10参照)
画像が保存されない。	画像が保存される前に電源やSDHCメモリーカードを取り外したのでは?	画像が保存される前に電源やSDHCメモリーカードを取り外さないでください。(P.14~18参照)
SDHCメモリーカードが使用できない。	SDHCメモリーカードがロックされているのでは?	SDHCメモリーカードに付いている“ライトプロテクトスイッチ”がロックされていると、データの記録・消去を行うことができません。ロックを解除してください。(P.14参照)
すべてのボタンが作動しない。	ソフトウェアおよびハードウェアが何らかの刺激を受けたのでは?	USB-PC接続ケーブルを一度外してください。(P.10参照)
カードフルと表示される	SDHCメモリーカードが一杯です。	不要な画像を削除する。 または、新しいSDHCメモリーカードをフォーマットしてご使用ください。
黒い点等の影が映り込む	スキャナー本体の発光板にゴミ等の異物が付着したのでは?	付属の清掃用ブラシで取り除いてください。 冬場は特に静電気が発生し、ゴミが付着しやすくなります。 また、清掃用ブラシを使用する際、撮影したフィルムを誤って擦ると、フィルムにキズがついてしまいますのでお取り扱いに注意してください。

トラブルシューティング

▶ 付属清掃用ブラシの使用法

写真を参考にフィルムホルダー内の汚れ・ホコリ等の清掃を定期的に行ってください。

1. 電源をオンにします。
2. フィルムスキャンモードにします。本体内部の発光板が点灯します。
3. 本機右のフィルムホルダースロットから清掃用ブラシを挿してみます。
4. 清掃用ブラシで発光板を一方方向に数回なぞります。
5. 清掃用ブラシを奥から手前になぞり清掃用ブラシを引き出します。
6. 清掃用ブラシで取れない異物が発光板に付着している場合は、お手持ちのレンズクリーナー液を綿棒等ににじませ軽くこすってください。その後、4.5.の操作を行ってください。



記録可能枚数の目安

▶ 記録可能枚数の目安

フィルム記録枚数

フィルムサイズ	SDHCメモリーカード	
	4GB	32GB
135	804枚	6489枚
110	3219枚	25960枚
126	965枚	7787枚

写真記録枚数

スキャンサイズ	SDHCメモリーカード	
	4GB	32GB
4×6	1103枚	8900枚
3.5×5	1544枚	12460枚
4×4	1755枚	14160枚
4.2×3.2	1931枚	15576枚
3.4×2.1	3219枚	25960枚



- ◆ スキャンするフィルム、写真プリント、撮影条件によりデータ容量が一定でないため、記録可能枚数に差が出ます。上記の表は目安としてご参考ください。

仕様

仕様

イメージセンサー	1400万画素 1/2.3型 CMOS
有効画素数	1300万画素(35mmフィルム)
焦点距離	f=5.2mm
液晶モニター	2.4型 TFT
内蔵メモリー	ユーザー使用領域はありません
外部メモリーカード	SDHCメモリーカード:4GB~32GB
露出補正	9段階
スキャン解像度	フィルム:3200dpi 写真:700dpi
画像形式	JPEG
対応フィルム	カラーネガフィルム 35mm カラーリバーサル (ポジ・スライド)フィルム 35mm 白黒ネガフィルム 35mm 110ネガフィルム※ 126ネガフィルム※

※110ネガフィルム、126ネガフィルムをスキャンするには
各々別売のオプションフィルムホルダーが必要です。

スキャンエリア	35mm:約21×31.5mm 110:約10.5×14mm 126:約24×24mm プリントスキャン 4×6 :約91×137mm プリントスキャン 3.5×5 :約81×120mm プリントスキャン 4×4 :約96×96mm プリントスキャン 4.2×3.2:約81×105mm プリントスキャン 3.4×2.1:約52×81mm
対応写真サイズ	4×6、3.5×5、4×4、4.2×3.2 3.4×2.1インチ
光源	フィルム:白色LEDバックライト×1 フォト:白色LED×2列
出入力ポート	USB 2.0
電源	ACアダプター リチウムイオン充電電池(3.7V 1050mAh)
定格電圧	DC5V
定格電流	1A
寸法	約209(W)×162(D)×182(H)mm
質量	約1050g(付属品を含まず)

仕様

■ 同梱品

本体、ACアダプター、リチウムイオン充電機(BL-5C)、USB接続ケーブル、マウント用ホルダー、6コマ用ホルダー
清掃用ブラシ、取扱説明書

仕様

パソコンの動作環境

本体とパソコンをUSB接続にて使用する場合、以下の条件を満たすパソコンが必要となります。

- 下記OSがプリインストールされたパソコン
- USBインターフェース(2.0以上)を標準装備したパソコン

Windows対応OS	
7(32/64bit)／8(32/64bit)／8.1(32/64bit) 10(32/64bit)	
CPU	Intel Pentium 4/3.2GHz 以上
メモリー	2GB 以上
インターフェース	USB2.0

Macintosh対応OS	
Mac OSX 10.7.5～10.13.4	
CPU	Intel Core 2 DUO 以上
メモリー	2GB 以上
インターフェース	USB2.0

動作保証について

- 上記動作環境は最低限の条件を満たした仕様です。ご使用のOSに対応した動作環境が必要となります。
 - 動作環境を満たすパソコンの中でも、一部機種の設定、構成により正常に動作しない場合があります。あらかじめご了承ください。
 - 各OSからアップグレードしたパソコンでは動作保証致しません。
 - USBハブや拡張USBポートに接続した状態での使用、自作機および改造を加えたパソコンについては動作保証いたしません。
- ◎SDHCメモリーカードによっては使用できないものがあります。
- ◎記載の商品名、会社名は各社の商標もしくは登録商標です。
- ◎仕様や外観は製品改良等のため予告なく変更をする場合もありますのでご了承ください。

オプション

▶ オプション製品

KFS-14CBのオプション製品です。

オプション製品については、ケンコー・トキナーお客様相談室までお申し付けください。



110ネガフィルム用フィルムホルダー



126ネガフィルム用フィルムホルダー

メモ

メモ

保証規定

保証期間:お買上げ日より1年間

- (1) 修理の際は必ずお買上げ店舗のレシートを添付のうえ、ご購入店またはケンコー・トキナーお客様相談室までお申し付けください。
 - (2) お買上げ店舗のレシートの添付なき場合は有料修理となります。
 - (3) 正常な取り扱い中に故障を生じた場合以外は有料修理となります。(下記①～⑧など)
 - ① 取扱いの乱用、使用法の誤りによる故障
 - ② 保存上の不備のため湿度などによって生じた故障
 - ③ 火災や浸水・天災によって生じた故障
 - ④ 当社以外の場所にての修理・改造・分解による故障
 - ⑤ その他類似的起因による故障
 - ⑥ 消耗品(LED等)のお取り替え
 - ⑦ 落下、衝撃、砂、泥かぶり、冠水、浸水などによる故障
 - ⑧ 個人売買およびオークションなどでご購入の場合
 - (4) ご購入年月日・ご購入店名のなきものは無効です。
 - (5) レシートは大切に保管してください。
 - (6) 修理品に送料が掛かった場合はお客様にてご負担です。
 - (7) 当社製品を使用して付随製品が故障した際の保証しません。メモリーの破損やデータの消失などに関しては一切の責任を負いかねます。
 - (8) 出張による点検・修理・取扱説明・設定等には無償・有償を問わず対応しておりませんので、あらかじめご了承ください。
 - (9) 本保証は日本国内においてのみ有効です。
This warranty is valid only in Japan.
 - (10) 本保証は保証規定により無償修理を約束するもので、これによりお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
- [お願い]
修理に関しましては修理箇所、内容を明確にご指示ください。

■個人情報について

※本保証を通じてお客様からご提供いただいた個人情報を、修理完了後、速やかに廃棄いたします。

※ご協力いただきました記入事項につきましては、ご提供いただきました個人情報のうち、年齢・性別等個人を識別、あるいは特定できない情報と関連付け、統計的データに加工して利用する場合があります。

※当社は、お客様の個人情報を第三者へ開示いたしません。但し、以下の場合を除きます。

●お客様の承諾を得た場合。

●お客様の明示した利用目的の達成に必要な範囲内において、業務委託先に個人情報を開示する場合。但し、この場合に当社は、法令上、個人情報の安全管理が図られるよう、当該業務委託先に対して必要かつ適切な監督義務を負います。

ケンコー・トキナーお客様相談室

KFS-14CBについてのお問い合わせは

フリーコール(無料)

※海外からおよびIP電話では接続できません



0120-775-818

携帯電話・PHS・IP電話をご利用の場合

03-6840-3389 (通話料がかかります)

●受付時間 9:15~17:30 (土曜日・日曜日・祝日・年末年始・夏季休業等を除く)

※本ダイヤルでの通話は、応対品質向上のため録音させていただいております。



Kenko Tokina Co., Ltd.

株式会社 ケンコー・トキナー

ホームページ <https://www.kenko-tokina.co.jp/>

本 社 〒164-8616 東京都中野区中野5-68-10 KT中野ビル

